

ごあいさつ



第75回岩手芸術祭実行委員会  
会長 柴田 和子

岩手芸術祭は、昭和22年に全国に先駆けて開催されて以来、今年度は、75回目の開催の節目を迎え、現在、奥州地区など、県内各地で様々な公演や展示等が繰り広げられています。

岩手芸術祭がさまざまな時代を経て、県民の文化芸術の祭典として継続開催されていることは、県民の皆様のご理解、ご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。

今年度は、岩手芸術祭とともに、文化芸術の体験と鑑賞が楽しめる岩手県主催の「芸術体験フェスタ」も、盛岡市以外では初めて、奥州地区で開催されることになりました。

文化芸術の香り高い奥州地区と連携して岩手の文化芸術の魅力を発信し、多くの方々に文化芸術に親しんでいただくことは、岩手の文化芸術の振興のためには大変に有意義な機会であると考えております。

本日の「芸術体験フェスタ 舞台公演」においては、昨年に「風流踊り」としてユネスコ文化遺産登録された「川西大念佛剣舞」をはじめとする郷土芸能、合唱、クラシックバレエ、民謡、各種ダンス、音楽、ピアノ演奏など、幅広いジャンルの多彩なステージが繰り広げられます。

どうか、最後までごゆっくりご鑑賞いただき、温かい声援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本事業の開催に当たりましては、一般財団法人奥州市文化振興財団設立30周年・奥州市文化会館開館30周年記念事業として共催を賜りました同財団をはじめ、開催にご尽力を賜りました関係団体、関係者の皆様に心から感謝を申し上げます、ごあいさつといたします。

### 第75回岩手芸術祭巡回美術展

日時 令和5年1月20日(金)～25日(水)9:00～17:00(24日(火)は休館日)

会場 奥州市文化会館 展示室

入場  
無料

主催

岩手芸術祭実行委員会

(岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社

I B C岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手)

### 芸術体験フェスタ in 奥州 [舞台公演]

主催

岩手県(運営:岩手県芸術文化協会)

共催

奥州市 一般財団法人奥州市文化振興財団 奥州市芸術文化協会

金ヶ崎町教育委員会 金ヶ崎町芸術文化協会

後援

盛岡市 NHK盛岡放送局

企画

岩手芸術祭総合フェスティバル企画運営委員会

構成・演出……………大森 健一(岩手県演劇協会)

演出補佐……………大沼 まゆみ(岩手県洋舞協会)

民俗芸能コーディネーター…藤沢 清美(岩手県民謡協会)

合唱コーディネーター…………村松 玲子(岩手県合唱連盟)

及川 尚樹(岩手県合唱連盟)

舞台美術……………小笠原 卓雄(岩手芸術祭美術展現代美術部門)

舞台監督……………佐藤 英也

問い合わせ先

一般社団法人岩手県芸術文化協会 TEL▶019-626-1202

- 発熱や咳などの症状がある場合は、ご来場をご遠慮ください。
- ご来場の際はマスクを着用し、咳エチケットの徹底をお願いいたします。
- 入場時に体温測定を行います。
- 携帯電話の電源はお切りになるか、マナーモードにお切り替えてください。
- 主催者の許可のない撮影・録音は禁止させて頂いております。また、ホームページ・ブログ・SNS・動画投稿サイト等、インターネット上にアップロードすることは固くお断りいたします。
- 大ホール客席での飲食は禁止となります。

芸術体験フェスタ in 奥州 **舞台公演**

デザイン/佐々木海太郎

一般財団法人奥州市文化振興財団設立30周年  
奥州市文化会館開館30周年記念事業

2022



岩手県政150周年記念  
(R4～R8)

継承・創造・平和

祝って、  
いわれて

# 芸術体験 フェスタ in 奥州 舞台公演

令和5年 **1月22日** 奥州市文化会館 大ホール  
開場▶12:30 開演▶13:00

# プログラム

司会：甲斐谷 望（IBC岩手放送アナウンサー）

テーマ：継承・創造・平和 一祝って、いわて

## — 第1部 —

### ▼ オープニング「合唱」 岩手県立不來方高等学校音楽部

- 曲 目／「さとうきび畑」 寺島 尚彦 作詞／作曲／編曲  
ざわわ ざわわ ざわわ さとうきびの葉のこすれる音、海の波の音、風の音、心の騒ぐ音 66回のざわわ。1945年、今から77年前、日本で唯一の地上戦となった沖縄で、戦争で死んでしまったお父さんを探す少女を描いた反戦歌。
- 出演者／岩手県立不來方高等学校音楽部  
全日本合唱コンクール全国大会28回出場（金賞22回、うち文部科学大臣賞8回受賞）。第75回全日本合唱コンクール全国大会高校部門日本一。2003年、イラク戦争で海外公演に行けなかった時から20年間、平和を祈って先輩から歌い継がれてきました。今年度は沖縄の本土返還50年ということもあり、思いを新たに取り組みました。今日も平和への祈りを込めて歌います。  
◆指揮／村松 玲子

### ▼ 「クラシックバレエ」 黒沢智子バレエスタジオ／岩手県洋舞協会

- 演 目／「戴冠行進曲」
- 出演者／小谷 百香 森 春奈 及川 愛菜 齋藤 藍 澤田 麻椰 梅村 奏美 濱 莉央 吉田 楓 丸山 柚 及川 舜介  
黒沢智子バレエスタジオ水沢教室は、1968年に開設しました。今回は、水沢教室と盛岡教室の中学・高校生の生徒が、元気よく、華やかに踊ります。心を込めて一生懸命踊る子ども達に温かい声援をお願いいたします。

### ▼ 小田代神楽 小田代神楽保存会

- 演 目／「鐘巻道成寺より やまのは（女舞）」  
道成寺は歌舞伎などでもお馴染みの演目で、紀州和歌山に伝わる伝説が元です。神楽では女性の心の変るさまを、舞とお面を変えながら演じていきます。今回は、序盤の娘が舞う瀬台野神楽流の女舞「やまのは」をお楽しみください。
- 出演者／小田代神楽保存会  
口伝によりますと創始は明治28年、瀬台野より隣村に養子に来ていた、瀬台野神楽の神楽師菅原金之丞を師として、初代座元植田喜作らの尽力によって始められました。昭和の高度成長期に人材不足で一時活動が衰えてきましたが、平成15年から地元の青年達の協力で演目を増やし、式舞、神舞を中心に据えて現在20の演目で活動をしています。

### ▼ 金津流梁川こども獅子躍 金津流梁川こども獅子躍

- 演 目／「島霧」  
礼庭と同様で、礼式の踊りです。2番庭とも云われています。踊りの展開は礼式とは違い、面白さもあります。3人狂いの場面もあります。
- 出演者／金津流梁川こども獅子躍  
こども獅子躍は梁川2区自治会（芦沢・栗生沢集落）が平成15年春に「こども教室事業」を取り入れ、地域の小・中学生を対象に、古くから伝わる金津流梁川獅子躍の技芸を学び、後継者育成を目的に結成いたしました。令和4年度は文化庁伝統文化親子教室事業「おうしゅう伝統文化親子教室」事業の一環として奥州市内の子ども達が参加しております。

### ▼ 民謡「南部俵積唄」 南部千代連（及川千代子社中）／岩手県民謡協会

演 目／「南部俵積唄」  
正月に小さな米俵（福俵）を抱えた門付芸人が、その年の幸運や五穀豊穡等、その家の繁盛をめでたづくめの文句を唱えながら各家々を廻ったのが、この唄のはじまりです。民間信仰から生まれた門付芸が盛んになったのは、藩政時代といわれています。

出演者／南部千代連（及川千代子社中）  
昭和22年発足以来、活動範囲は岩手県内だけでなく、関東方面など多岐に渡り、経験を積んでいます。南部岩手民謡はもちろんのこと、全国の民謡をマスターするため日々研鑽しています。

### ▼ 〈特別〉ユネスコ無形文化遺産登録・国指定重要無形民俗文化財〈出演〉川西大念佛剣舞 川西大念佛剣舞保存会

- 演目1／「入剣舞」  
荒れ狂う亡魂を一匹の猿が念佛踊りを舞いながら、やがて極楽浄土に導いていく様子を表現します。  
演目2／「押込」  
一人怒りで、口あき面・毛ザイを付けて舞います。念仏の効力により力を納められるが、素手でも荒れ狂うという勇壮な踊りです。  
演目3／「三人怒者」  
一度念仏の効力で鎮まったかに見えた亡魂（怒者）が、再び舞い戻って荒れ狂います。亡魂が刀をくぐり、そして跳ねる勇壮な踊りです。
- 出演者／川西大念佛剣舞保存会  
令和4年11月30日、「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録。およそ900年前から奥州市衣川地区に伝わる踊り。前九年・後三年の合戦で命を落とした亡霊を成仏させるために踊られるもので、踊る前に念仏を唱えることが習わしとなっています。世界に認められた民俗芸能をご鑑賞ください。

\*\*\*\*\*

## — 第2部 —

主催者挨拶／岩手県知事 達増 拓也

### ▼ カラーガードパフォーマンス カラーガードチーム arbre

- 演 目／<sup>arb</sup>拓～未来へ～
- 出演者／大森 美侑 宮 紀奈 佐々木 らら 市川 彩織 金田 樹奈 ブラネン 新那 辻本 爽羽 ブラネン 愛那 石田 智哉（新☆男塾）

岩手県唯一のカラーガードチームで、小学生から社会人までが一緒に活動しています。結成10周年を迎えました。カラーガードは軍隊における旗の警護隊に由来し、フラッグや様々な手具を用いて音楽を視覚的に表現する競技です。今回の作品は「美しい地球」「平和」「エール」をイメージして作った作品です。

### ▼ チアダンス「Heatbeat!!」 盛岡チアダンスクラブ煌

- 演 目／「Heatbeat!!」
- 出演者／田村 美結 三浦 早瑛 吉田 優 高倉 あえる 山崎 こと寧 大隅 葉子 菅野 葉香 山下 莉呼 川上 雅 東井 詩季 岩脇 帆海 大澤 菜花 筒治 愛佳梨 佐藤 和奏 大隅 絢子 吉田 香乃実 川村 茉菜 宮崎 友那 橋爪 凜

競技スポーツとしてのチアダンスに取り組むクラブチーム。令和4年度岩手県芸術文化協会ジュニア文化奨励賞受賞。チアダンス界最大の競技大会である「USA Regionals2023」東北大会にて全学年が予選を通過し、3月全国選手権大会への出場を控えています。見ている人の心拍数を上げるようなスピードとエナジーあふれる競技チアダンスの世界をお楽しみください！

### ▼ 一輪車 前沢一輪車クラブ アルスノーバ

演目1／「Wamono～和モノ～」 出演者／LUX  
演目2／「Raging Fire」 出演者／REGIUS  
演目3／「Croatian Rhapsody」 出演者／佐藤 里和 橋本 奈緒  
1996年にスポーツ少年団として発足し27年目を迎えました。現在、前沢地域を中心に奥州市内外の園児から社会人まで30名で活動しています。一輪車の演技をスポーツ競技として広く知ってもらうため、イベント等に積極的に参加し、愛好者の拡充にも努めています。また競技大会では、グループ・ペア・ソロの各演技部門の全国大会に出場しています。表現スポーツとしての一輪車演技をご覧ください。

### ▼ 「声楽」 松井 亜希

- 曲目1／「モテット《踊れ、喜べ、幸いなる魂よ》KV165(158a)」 モーツァルト 作曲 出演者／松井 亜希  
水沢出身。岩手県立不來方高等学校卒業。東京藝術大学大学院博士課程修了。三菱地所賞受賞。日仏声楽コンクール優勝、日本ドイツリートコンクール優勝、日本音楽コンクール入選。パツハやヘンデル等バロック音楽のスペシャリストとして国内外の公演に出演。東京藝術大学非常勤講師。  
◆ピアノ伴奏／阿部 美礼
- 曲目2／「いのちの歌」 村松 崇継 作曲／Miyabi 作詞 出演者／松井 亜希 岩手県立不來方高等学校音楽部  
◆指揮／村松 玲子 ◆ピアノ伴奏／工藤 涼哉

### ▼ 「ピアノ」 佐藤 陽十

- 曲 目／「アンダンテ・スピアナートと華麗なる大バロネーズ 変ホ長調 作品22」 ショパン 作曲
- 出演者／佐藤 陽十  
岩手県出身。武蔵野音楽大学および同大学院を首席で修了。2018年、オーストリアで行われた“Music in the Alps”音楽祭にてコンペティションに合格、フェスティバルオーケストラと共演。同年、第71回岩手芸術祭にて芸術祭賞受賞。2019年、第34回練馬区新人演奏会出演者選考オーディションにて優秀賞受賞。同演奏会にて東京フィルハーモニー交響楽団と共演。2022年度クロイツァー賞を受賞し、記念演奏会に出演。現在、武蔵野音楽大学附属音楽教室講師。

### ▼ 「合唱」 Zホール児童合唱団

- 曲目1／「明日という大空」 平野 祐香里 作詞／橋本 祥路 作曲 曲目2／「見えない翼」 佐々木 香 作詞／長倉 鈴恵 作曲 曲目3／「未来の作り方」 里乃塚 玲史 作詞／西澤 健治 作曲
- 出演者／Zホール児童合唱団  
Zホール児童合唱団は、学校活動とは違う子どもたちの自己発現の機会となること、合唱をとおして豊かな感受性・創造性・表現力を育み音楽を愛する子どもたちを育てること、Zホールを活動基盤とする青少年の文化活動の拠り所となることを目指して平成28年10月から活動を始めました。本年度は総勢21人の子ども達が活動しております。コロナ禍でも、ステージに向け元気に練習してきた姿をご覧ください。  
◆指揮／石川 慶子 ◆ピアノ伴奏／大金 雅子

### ▼ フィナーレ「合唱」 岩手県立不來方高等学校音楽部

- 曲 目／「くちびるに歌を」 ツェーザー・フライシュレン 詩 信長 貴富 訳詞／作曲
- 出演者／岩手県立不來方高等学校音楽部  
新型コロナウイルス感染拡大により、歌うことの許されなかった3年間、暗闇の中で、希望の光はやはり歌声でした。「くちびるに歌を」の「歌」は希望を意味しています。まだなかなかマスクをはずして歌えませんが、歌声の灯、文化の灯を消さないでいきたいと思います。「嵐が吹こうと 吹雪が来ようと 地上が争いに満たされようと くちびるに歌を持って」という歌詞に心を込めて歌います。  
◆指揮／村松 玲子 ◆ピアノ伴奏／工藤 涼哉

\*本日の舞台公演の様子は3月1日(水)～15日(水) ①13時～ ②19時～ 水沢テレビにて放映の予定です。